

## 競技及び審判上の注意

- 1 競技は「第 37 回鹿児島県小学生バドミントン大会要項」及び公益財団法人日本バドミントン協会競技規則並びに大会運営規程により実施、運営します。
- 2 日本バドミントン協会「感染症対策に伴うガイドライン」に沿って対策を行います。
- 3 シャトルは日本バドミントン協会第 1 種検定合格水鳥球「YONEX NEW OFFICIAL」を使用します。
- 4 選手は、チーム名、名前の入ったゼッケンを必ず背面に着けてください。
- 5 試合は、21 点 1 ゲームマッチ延長あり 30 点までとします。ただし、各種目準々決勝から正式ゲームとし 3 位決定戦と 5 位決定戦を行います。
- 6 各コートに設置した椅子にコーチ 1 人が着席できます。
- 7 試合順は流し込み方式を基本としますが、タイムテーブルどおりにいかない場合があるので、コールには十分注意してコールがあったら速やかにコートに入ってください。
- 8 試合会場について
  - (1) 10 月 2 日（土） 西原商会アリーナ
  - (2) 10 月 3 日（日） 西原商会アリーナ
  - (3) 大会スケジュールとタイムテーブルで試合会場及び開始予定時間を確認して各自、分散入場してください。
  - (4) 初戦に限り 3 分間の練習を認めます。シングルスは対戦相手とダブルスはペアとの練習を行ってください。
- 9 審判について
  - (1) 主審、線審は参加者とその関係者による審判とします。小学生に代わり大人の方が審判をされても構いません。
  - (2) 最初の試合は、相互審判とします。本部進行より主審、線審を指示致します。
  - (3) 2 試合目以降の審判は、敗者のチームより主審と線審を勝者のチームは線審を行ってください。
  - (4) 初心者や低学年が審判を行う場合は、指導者又は保護者が替わって行うこととします。
  - (5) 主審は、次のとおりの処置を行うものとします。
    - ア 試合前・試合後に選手及び線審と利用した椅子などの消毒を行う。
    - イ 試合開始前に審判用紙に主審名を記載し、審判用紙とゼッケンで選手名を照合する。
    - ウ 試合終了次第、勝者のサインをもらい、コートのもップ掛けを各選手へ指示する。
    - エ 審判用紙を本部へ持参し、審判部の確認を受ける。
    - オ 次の試合の審判用紙を受け取り、次の主審に審判用紙を引き継ぐ。
- 10 表彰は、各種目とも 4 位までとし各種目の終了の都度随時行います。

4 位までの者は、九州大会の出場者として推薦する。（注 1）
- 11 その他
  - (1) 声をあげてのプレー及び声援は禁止として拍手での声援をお願い致します。
  - (2) 自身の試合・役割（敗者審判など）が終了したら観戦や応援をせず、速やかな帰宅をお願いします。

- (3) 体育館施設以外には、立ち入らないでください。
- (4) 指定された場所で飲食を行ってください。
- (5) 審判員資格をお持ちの方は、審判手帳を本部に提出してください。

注1 九州大会の地元開催に伴い、各県代表の棄権があった種目に5位決定戦実施の結果で上位より九州大会の出場者として後日、推薦の連絡を行います。